

2025 新春号 ほ、元み

《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

- 1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
- 1. 私達は自分の力で伸びて行こう
- 1. 私達は私達の規則を尊重しよう

《基本方針》

- 1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
- 1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
- 1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
- 1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
- 1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします



変革がもとめられて居ます。

新年明けましておめでとう御座います。新しい年を皆様と共に...



新年のご挨拶

一般財団法人積善会理事長 松尾 嘉禮

また世界の情勢ではアメリカ大統領にトランプ氏が再登場され、世界経済に大変革が起きる...

当院にとっては昨春秋に古林名誉院長他、医師2名が体調を崩され、多くの患者様にご不便...



健康教室 予約不要

日時 毎月第2水曜日 14時～
会場 外来棟3階 研修室
(入院患者様で場所が不安な方はお連れいたします)

- 1月 8日(水) すごろくとカルタをしよう(内容未定)
担当: 看護師・理学療法士・薬剤師
臨床検査技師・管理栄養士
- 2月 12日(水) 腎臓病にならないために
担当: 看護師・薬剤師
栄養管理士
- 3月 12日(水) 糖尿病の基本
担当: 看護師・臨床検査技師
理学療法士

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれも遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。 病院長

患者さまの権利

- 私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。
- 1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
- 1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
- 1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
- 1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
- 1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
- 1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

- 1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
- 1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
- 1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。

Instagram はじめました

薬剤科

薬剤科についてだけでなく
院内やスタッフの休日についても
発信していきます
フォローをお願いします

@niihama_jyuzen_yakuzai

看護部

フォローよろしくお願
いたします!!

@niihama_jyuzen_kangobu

所在地のご案内

《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272 台収容可能】
《バス》瀬戸内バス……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車
「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車
《JR》JR予讃線……新居浜(にいほま)駅下車、タクシーで約10分

一般財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124
ホームページアドレス <https://jyuzen.jp/>

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士の育成
校是【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全ユリノキ病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。

社会福祉法人 三恵会

子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話をしています。

- 総合福祉施設 やすらぎの郷
- 介護老人福祉施設 ハートランド三恵
- 介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘
- 介護老人保健施設 希望の館
- 障害者支援施設 三恵ホーム
- 児童福祉施設 十全保育園
- 児童福祉施設 中萩保育園
- 総合福祉館 コミュニティハウス三恵
- 福祉館 恵海
- 養護老人ホーム 新居浜市立慈光園

カサカサ肌の原因と予防

看護部部长 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 水田 史子

寒くなり肌の乾燥が気になる季節になりました。冬になると肌がカサカサしたり、白く粉を吹いたようになっていたりしませんか？

肌がカサカサするのは、新陳代謝が低下し古い角質が剥がれ落ちないことが原因と言われています。これをターンオーバー肌の新陳代謝と言います。ターンオーバーが遅くなる原因は老化だけでなく、日々の生活にも原因があります。

例えば、熱いお風呂に入ったりすることも肌のかさつきにつながります。また、これから暖房器具の使用により空気が乾燥しがちで、これもカサカサ肌の原因です。そこで、肌のカサカサ予防対策をお伝えします。

- 1. 肌の保湿**
お風呂上りは、乾燥しやすいので早めの保湿剤使用をお勧めします。また、暖房器具と一緒に加湿器の使用で空気の乾燥を予防しましょう。
- 2. 刺激から肌を守る(紫外線対策も重要)**
お風呂で体を洗う時は、ゴシゴシこすらず優しい繊維のタオルで洗いましょう。

う。泡洗剤で洗うこともおすすめですが、また、冬の紫外線にも注意が必要です。日焼け止めや帽子など引き続き紫外線対策をしましょう。

3. こまめな水分補給
人肌程度のぬるま湯をこまめに飲みましょう。甘いものは体の水分を蒸発させてしまうため気を付けましょう。

4. バランスの良い食事
セラミドには、肌の水分を逃がしにくくする機能があると言われています。ヨーグルト・大豆・生芋こんにゃく・ホーレンソウなどセラミドを豊富に含む食品を積極的にとりましょう。

5. 睡眠はしっかりと
睡眠は肌を回復させる貴重な時間のため、心身ともにリラックスタイムで過ごすよう睡眠時間を確保しましょう。

健康的な美しい肌を保ち、寒い冬を乗り切りましょう。

参考資料：daiichisanjyoko-hc.co.jp

胃ろう造設と食事

看護部 師長 伊藤 千枝

当院の療養病棟には経腸栄養を行っている患者さまが多数おられます。経口摂取が困難になった場合の栄養の確保のために、経鼻経管栄養法や胃ろう造設などが手段の一つにあります。

経鼻経管栄養法や胃ろう造設は栄養手段の効果的な栄養療法であり、栄養改善により身体機能が回復するといった一方で、患者さまに対する医療管理方法が突然変わり、施設の受け入れが困難な状況になるという状況もあります。

胃ろう造設は、経口摂取が可能であっても将来経口摂取が不可能になることを予測して予防的に胃ろう造設に踏み切ることもあります。胃ろうは生きる上でのエンドポイントではなく、生きて行く過程の通過点であるのではないかと考えます。

一回胃ろうをつくってしまったら、生涯口から食えることができなくなってしまう方もいるかも知れませんが、胃ろうをつくっても口から食事を食えることはできます。食事が食べられる人には、摂取量に応じて、食事と併用で胃ろうから栄養剤の注入を行うこともあります。

また胃ろうは作ったけれど、食事は口から食べ、薬だけ注入という場合もあります。胃ろう造設した人の中にも色々な方がおられます。口から食えることが全くなくなって、完全に胃ろうからの栄養注入を行う場合もあります。

しかし、少しでも口から食えることができるなら、あきらめずに口腔内のマッサージなどを取り入れてリハビリテーションを行うなどして、口から食事が食べられるようになるケースもあります。

当院の療養病棟では嚥下反射を誘発させることを目的に、凍らせた綿棒でアイスマッサージを行っています。また、刺激を与え覚醒状態を促し反応がよくなれば、経口移行へのチャンスになるのではないのでしょうか。

食えることをあきらめずに、本人は言葉にできなくても、食べる喜び、味わう楽しさを求める思いがどこかにあるのではないのでしょうか。

十全グループ 学会報告

第85回 十全グループ学会が 令和6年11月16日(土)、救急棟5階大会議室で行われました。



●特別講演「不易流行～ヒト・地域そして地球の健康を考える～」
国立大学法人岡山大学 学長 那須 保友 先生



●「せん妄マニュアル 作成の経緯と活用方法の提案」
医師 貴田 晃広・薬剤科主任 堀川 康裕

十全看護専門学校 令和6年度 宣誓式

日時 令和6年10月22日(火)
場所 あかがねミュージアム
対象 1年生(40期生)20名

1年生20名が、教員や保護者の見守る中、理想とする看護師像を発表し、宣誓式を迎えることができました。



宣誓を終えて先輩とともに